

つくばスポーツ大賞 2014

3/8日開催!

- 主催 NPO 法人アクティブつくば、つくば市
- 主管 Vision ネットワークつくばスポーツ大賞 2014 実行委員会
- 後援 筑波大学 つくば市教育委員会 つくば市体育協会 関影商事株式会社 茨城新聞社 つくばコミュニティ放送 常陽リビング社
- 協力 イオンモールつくば
- お問い合わせ 029-852-5343 (NPO 法人アクティブつくば)

<つくばスポーツ大賞 2014 オーディエンス賞>

地域スポーツへの貢献、輝かしい競技成績を残した個人/団体へ投票しよう!!
あなたの清き一票を心よりお待ちしております。

- 投票期間 2月11日(水) ~ 3月4日(水)
 - 投票場所 イオンモールつくばセンターコートに投票箱、投票用紙を設置いたします。
- ※投票はどなたでもできますが、1人1票を厳守ください。



つくば
スポーツ大賞
2014
ノミネート者決定!!



■ 表彰式

日時:3月8日(日) 13時00分(12時30分開場)
場所:イオンモールつくば(1F 特設ステージ)
主催:NPO法人アクティブつくば つくば市

2014年11月3日、第62回全日本剣道選手権大会において史上最年少(21歳5ヶ月)優勝。大学生の優勝は43年振り2人目。筑波大学体育専門学群3年生。体育会剣道部主将。3歳から竹刀を握り抜群の競技成績を残し筑波大学入学。2013年全日本学生優勝大会では2年生にして代表戦を制し優勝に導いた。筑波大学、東京教育大学、東京高等師範学校を通して、数十年に一人の逸材。全日本剣道連盟強化訓練選手にも抜擢されており、2015年日本武道館において開催される第16回世界剣道選手権大会におけるジャパン完全制覇に向け有力選手として期待されている。

竹之内佑也(筑波大学剣道部) 競技: 剣道
※写真①

入賞・優勝を果たし、今年の大学生の頂点を決めるダンスコンテスト「BIG BANG」の夏大会では、東京大会、大阪大会ともに優勝。見事、東西大会制覇という快挙を成し遂げた。また、地域のダンスサークルの指導者としても活躍し、地元つくばのダンス文化の発展にも尽力している。トップダンサーへの道に挑戦しつつ、地域のダンスシーンにも貢献する姿は、子ども達の憧れとなっており、彼女のような存在が更に増えていくことを期待させる。

上野真帆(FRAN) 競技: ダンス
※写真②

Mari Jazzdance Company の代表として、年少児から大人まで、幅広い年代に Jazz ダンスの魅力を伝える活動を行っている。Jazz ダンスを基礎としたオリジナリティーのあるダンスを目指し、設立10周年の節目を迎えた今年の発表会では、オリジナルのミュージカル作品「Present ~奇跡の鐘クリスマス~」に初めて挑戦。活動を支える保護者の方々や生徒、スタッフ、協力団体と共に感動のステージを創り上げた。「今できる精一杯」を追究し、ダンス文化の向上・発展に邁進する姿勢は、地域で活動するダンス団体が見習うべきものである。

中島真理(Mari Jazzdance Company 代表)
競技: ダンス ※写真③

小学校1年生のときから飛び込みを始める。小学5年生~中学1年生まで全国 JOC ジュニアオリンピック夏季水泳大会で上位の成績を収める。

2010年4月~2012年3月の2年間マレーシアで過ごした。この間、プールがあまり使えず、飛び込みの練習は、ほとんど行うことができなかった。しかしながら、帰国後2014年(高校3年時)には、ジュニアオリンピック(高飛び込み)で優勝、国民体育大会(高飛び込み)で優勝、その他の種目でも好成績を収める。

大久保柊 競技: 飛込競技
※写真④

主に視覚障害者を対象としたフリークライミングの普及を目指して、2005年より全国にてボルダリングスクールやイベント、講演会などさまざまな活動を展開。昨年にはボルダリングジム『モンキーマジックつくば』をつくば Q't にオープンするなど、つくばのクライミング文化の定着に尽力している。また、代表の小林幸一郎氏は昨年9月にスペインで開催されたパラクライミング世界選手権での金メダルが評価され、読売新聞社制定「第64回日本スポーツ賞」の競技団体別最優秀賞を受賞するなど、今後も更なる活躍が期待される。

NPO 法人モンキーマジック
競技: クライミング ※写真⑤

平成26年11月1日、2日と静岡県時之栖で行われた2014 チャレンジリーグ参入チーム決定戦に出場し、1勝1敗。2位以上が確定し、2015シーズンは関東1部リーグを飛び級し、なでしこリーグ3部(全国リーグ)にあたるチャレンジリーグに参入することが決定。また、平成26年12月、つくば FC レディースは、男女共同参画社会の形成に向けて先駆的な功績のあった団体として茨城県が称えている賞を受賞した。

つくば FC レディース 競技: サッカー
※写真⑥

昨年まで関東医歯薬リーグ(昭和11年発足、参加29校の4部制)の2部リーグに所属していましたが、昨年12月に行われた入れ替え戦(1部6位-2部1位)に見事勝利し、念願の1部昇格を決める。4年連続で大学選手権ベスト4に残った筑波大ラグビー部(トップチーム)の陰に隠れがちだが、初心者も多く、講義・実習の合間に真摯にラグビーに取り組む姿は、プロ化によって失われつつあるラグビーの文化・精神の良き伝統を継承するチームとしてスポットを当てるにふさわしい。

筑波大学医学ラグビー部 競技: ラグビー
※写真⑦

第66回全日本大学選手権大会において、61年ぶり2度目の優勝を果たした。同大会では、東京教育大学時代を含め第1回より唯一全大会出場を続けており、第5回大会(1953年)では国立大学として唯一の優勝経験を誇る名門校。今年は、テーマである「アグレッシブなディフェンスからの速攻」で、攻守の切り替えの速いトランジションバスケットを展開し、決勝では、今シーズン無敗で3連覇を目指す東海大学を下した。創部88年の伝統に、新たな歴史を刻んだ功績は大きく、今後の更なる活躍が期待される。

筑波大学男子バスケットボール部
競技: バスケットボール ※写真⑧